



学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成 30 年 1 月 1 8 日発行 No.35

文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



雪国ならではのスポーツ ～スキー学習～

雪国会津ならではのスキー学習が始まりました。

校庭を歩いたり、築山を使って滑ったりしながら、基礎練習を進めています。26日には5・6年生が、来月2日は3・4年生が、三の倉スキー場でスキー教室を実施します。なお、PTA、保護者のみなさまからたくさんのご協力をいただきます。どうぞよろしくお願いします。スキーや靴の運搬もありありがとうございました。

今年は、保護者のみなさまの負担軽減のため、市のバスを使って三の倉スキー場へ行きます。



築山を使って練習しています

「感謝」と『希望』の姿 ～活動して感じ、考え、自ら行動を変える～



自発的に除雪をする6年生

始業式での、「感謝」と『希望』の言葉について、6年生は、学級に戻って話し合い、さっそく行動に移しました。

6年生の5人は、みんなが歩きやすいようにと、校庭の通路を自発的に除雪したのです。そうした姿を下級生に示す意図もありました（学校のリーダーは、どのようにあるべきかを示した）。

下級生のことを考えた除雪と、ボランティア精神を下級生に引き継ごうとする態度を率先垂範する姿は、まさに、「感謝」と『希望』の姿でした。

児童会運営委員は、毎月1日に「あいさつ運動」を行っています。1月は、16日に行いました。

そのあいさつには、工夫と真心を感じました。右の写真のように、名前がわかる人には、名前を付けてあいさつしていたのです。あいさつされた子は、ニコニコとうれしそうな恥ずかしそうな表情でした。名前をつけてあいさつする側も、自然と笑顔になっていました。

「名前を付けてあいさつ」することは、心のこもったあいさつ、心が通じ合うあいさつに高めることを実感した場面でした。



名前をつけてあいさつ5年生

子育ての文化 ～傘の扱い方～

傘に付いた水滴の落とし方は、下の写真の①と②の二通りがあります。どの子も、そのようにして水滴を落とし、きれいに巻き、スッと傘立てに入れます。教えてもらったのでしょうか。見ておぼえたのでしょうか。

傘の扱い方・作法を、しっかり身に付けている子ども達に感心させられます。同時に、正しい作法を身に付けることが規律ある学校生活につながっていくのだなと思いました。

① パフパフする



② クルクルする



③ クルリンと巻く



1年生は、塩川食生活改善員のみなさまに、団子さしを教えていただきました。いわれを聞いたり、団子を食べさせてもらったりしました。↓



傘に付いた水滴を、①パフパフしたり、②クルクルしたりして落とし、クルリンと巻いて、スッと傘立てに入れます。